

環境衛生ニュース

(ムカデ・ヤスデ)

ムカデについて ムカデは10月頃までがピーク。大きさは7~13cm位で色は黒、褐色、黄色などいろいろあります。屋外の草むら、林の落葉の下、石垣の間などで、昆虫や小動物を食べて生活していますが、オオムカデ類はよく人家内に侵入してきて、ゴキブリなどを捕食します、その時にかまれる被害が起こったりします。ムカデに噛まれた場合患部に抗ヒスタミン含有のステロイド軟膏を塗布し、腫れた場合はできるだけ患部を冷やします。対処法としては、周辺の草原、林、石垣の隙間などの棲息場所に対する薬剤散布を行なう。専門業者に相談し発生源をキチンと調査すると良い。

追伸：ムカデの成虫はゴキブリを好むため、ゴキブリ駆除も大事、ゴキブリトラップに捕獲された状況もキケン。



写真1 オオムカデ
(体長約10cm)



写真2 古じゅうたんの下部が山土の為、数年に渡り繁殖が繰り返されていた。

ヤスデについて ヤスデの卵や幼虫は4月頃まで地中で生息しており、6月~7月頃に成虫となる。食性は腐植物を好む。又暗所を好み、農村の畑地・郊外のゴミ捨て場・山野から洞窟内にまで生息する。ヤスデの体液には青酸カリ・キノン・トルキノンなどの有毒物質が含まれており、皮膚に付着すると障害をおこす場合がある。しばし大発生をして民家内に侵入するので不快感を与える。防除においては暗所・腐植物の除去など生息場所の環境改善を行なうことが重要である。



写真3 ヤスデ発生場所
(腐葉土)

ヤスデが多数認められるときはコンクリートの隙間等に殺虫剤を散布すると良い。予防として除草後の片付けが大切。

特に雨あがりの曇り空の午前中に出没、住宅の周辺をチェックする。



写真4 コンクリートの隙間に生息するヤスデ。

不快害虫侵入防止器具(ムシガード)について

1. 目的・用途・・・ムカデ・ヤスデ・ダンゴムシ・アリ等の歩行性不快害虫の侵入防止（駆除・予防効果）

2. ムシガードの構造・取付場所の一例

材料はアルミフレームで本体とカバーの2つに別かれています。

薬剤の取替えの為、カバーは取り外しが可能な構造です。

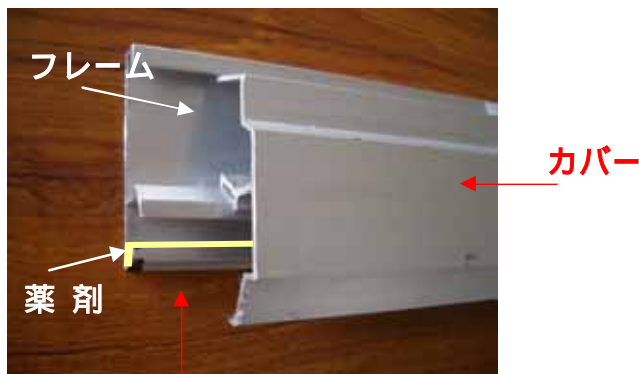
コンクリートの土止めの場所や住宅の基礎部分の立ち上がりに取り付けます。

フレームの中の薬剤に接触してノックダウンします。



写真5 アパートでの取付例

写真6 ムシガードのフレーム構造



不快害虫の侵入



写真7 施工後の死虫。上に登ろうとするヤスデがすべてアスファルト上にノックダウンしている。

3. こんな場所に最適

住宅の敷地が裏山に面して毎年、ムカデが寝室まで侵入してくる。

庭園が広く、毎回薬剤散布ができない。

アレルギー等で薬剤散布が心配になる。

隣地が休耕地で枯草が多い。

4. 施工及び管理費用

ムシガード取付け費・・・¥4,800/m当り。

（取付工賃及び周辺薬剤処理含む）

薬剤入替え

2年に1回・・・¥1,000/m当り。

（本体メンテナンス・周辺環境チェック含む）

害虫駆除の専門家
住宅や工場、サービス業の
環境に衛生と安全（予防）
のサービスを提供します。



仕事が早い・上手・親切を30年
オールコントロールサービス(株)
0120-19-6464

お問合せは 営業課 石崎 迄